

## 飛耳長目〈第16回〉懇談概要

日時	令和5年9月15日(金) 18:00~19:30
場所	安曇野市役所本庁舎 共用会議室 305
テーマ	安曇野市における聴覚障害者福祉について
参加者	安曇野聴覚障害者協会6人、安曇野市登録手話通訳者2人

### 市が主催する各種行事における情報保障(手話通訳等)について

参加者 「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」が令和4年4月1日より施行された。この条例の前文に「全ての人が、…、障がいの有無にかかわらず、…自分らしく暮らせる地域社会を築くことが、目指すべき方向である。」と書かれている。しかし、聴覚障がいの例では、市や公民館・図書館が主催もしくは共催する各種行事において、事前に手話通訳などの派遣を申請しないと情報保障が受けられず、自由に参加できない。また、映画上映会においても、字幕がないため、聞こえる人と同じように自由に参加できない状況。この点について、「障がいの有無にかかわらず」の考え方とかけ離れていると思うが、「障がいの有無にかかわらず」とはどんな社会と考えているか。また、どのように解決すべきだと考えているか。

市長 全ての行事に手話通訳者をお願いすることはなかなか難しいことかもしれないが、多くの方が参加する行事には手話通訳者の派遣を積極的に依頼してほしい。また、手話通訳の担い手を増やすため、手話奉仕員養成講座の募集等の周知を行っていきたい。昨年4月、安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例を制定した。全ての人が障がいの有無によって分け隔てることなく、人格と個性を尊重し合う社会を目指している。障がいのある方と話し合って、ともに対策を考えていききたい。

参加者 市の主催する映画上映会などのイベントチラシの中に「手話通訳を希望する場合は、お気軽にお申し込みください」というような一文を毎回加えていただければ、私達もそれを見て申し込みやすくなると思うので、そのような一文を加えて欲しい。

市長 講演会や映画などの告知チラシに一文を入れるようにする。

参加者 上映会で上映する日本映画は字幕がないものがほとんど。市の広報ポスターを見て、行きたいと思っても字幕がないと観るのを諦めることが多い。市の主催する映画上映会では、日本映画にも字幕を出していただきたい。

- 市 長 市が映画に字幕をつけることは相当難しいと思う。
- 参加者 字幕なしで見る場合、山形村、長野市などでは字幕付き上映会というものを開いている。字幕がなくても眼鏡のレンズ部分に字幕が表示されるスマート眼鏡というものがあり、元の映画に干渉せず映画が鑑賞できる。
- 市 長 字幕を付けるのは、配給会社の方で行っているのか、それとも市町村で独自に付けているのか。
- 参加者 詳しくは分からないが映画会社から、字幕を提供してもらっていると思う。映画上映の上映権にスマート眼鏡に対応した字幕付きサービスがあると思うので、できればそのような形でやっていただきたい。
- 市 長 山形村、長野市にも話を聞いて、配給会社とどういう交渉すれば、そういうことができるか確認する。また、スマート眼鏡についても調べてみる。

#### 市からの情報発信において、手話での情報提供を

- 参加者 安曇野市の情報発信として、以前は「手話ニュース」を行っていた。私たちろう者・聴覚障がい者にとって、わかりやすい情報源であったので、再開してほしい。市長の記者会見の動画には、手話通訳がワイプ画像として表示されたことはありがたい。耳から受け取れる情報は、ろう者・聴覚障がい者にも同じように情報を受け取ることが出来るようにしていただきたい。また、ろう者の中には、文章が苦手な方もいるので、文字情報に加え、手話による情報提供も必要と考える。
- 課 長 手話ニュースは、2010年から2015年ぐらいまで不定期でYouTubeに動画を掲載していた。しかし、恐らくは防災行政無線への切り替えに合わせ、更新されなくなってしまっている。現在、市としては市長の記者会見の様子を皆さんに広く知っていただくために、会見の翌日に手話通訳の皆さんにもご協力いただき、手話通訳動画を撮影し、編集のうえYouTubeに掲載している。今後は、皆さんに必要な情報をどういった形でお知らせすべきか話を伺いながら進めたい。
- 参加者 以前は市職員が、手話ニュースという形で市の情報を手話で発信していた。大変参考になり良かったので、ぜひ手話ニュースを復活していただきたい。また、市長の新年挨拶についても、手話と字幕がついていると良い。
- 市 長 新年挨拶について、来年からは確実に手話を入れる。

- 参加者 私の家族は、全員耳が聞こえない。私は 20 代だが、生まれてすぐ安曇野市に越してきて、今 20 年ぐらい経つ。大雨による三郷地域の水道水の濁りがあったとき、市で防災無線や広報車で呼びかけたと聞いているが、私の家族は誰も気づかず、友人からのメールで初めて知ることが出来た。最近では、大きな災害もないが、有事の際は、災害情報等が音声だけでなく聴覚障がい者にも分かるように、文字や手話を使い目で見える情報発信を行ってほしい。
- 市長 メールでの発信は可能。登録をしていただければ、LINE でもできるし、緊急情報を目で見てわかる形で、それぞれの方々に通知することができる。早急にやれるようにする。手話動画を作成するのは時間がかかるので、まずはメールや LINE でもお知らせができるように危機管理課に話し、すぐにでも始めたい。
- 参加者 防災無線が私の家にも付いている。各家に 1 台付いていると思うが、私は耳が聞こえない。以前、障がい者支援課に話したことがあるが、字幕が表示される防災ラジオを準備してもらえると、ありがたい。
- 部長 防災ラジオは、調べて検討したい。他の自治体の導入事例を調べ、機種など、やり方について調べてみる。
- 参加者 字幕が表示される無線機については、塩尻市が運用している。
- 市長 塩尻市に聞いてみる。
- 参加者 先ほど災害時など、緊急連絡時の市からのお知らせを、メールや LINE で配信するというお話をいただき、大変ありがたい。しかし、高齢者の場合は、なかなか SNS を使いこなすことができない方もいる。できれば高齢者に向けた情報発信として、隣組の組長に連絡をしていただき、隣組で助け合うような仕組みも必要だと思う。
- 市長 特に高齢の方は、LINE やメールのやりとりが難しい場合がある。近所の方から教えてもらうのが一番いい。
- 参加者 毎月広報あづみのが自宅に届き読んでいる。しかし、手話言語が載っていない。手話言語条例もできたので、できれば少し手話のことや聞こえない方の情報を掲載していただきたい。
- 市長 簡単な手話の紹介や挨拶から始めてもいいと思う。市職員にも、ぜひ手話通訳奉仕員の講習を受けていただいたりして、奉仕員の人数を増やしていきたい。命令はできないが、呼びかけたいと思う。

## 手話通訳有資格者の市職員募集について

参加者 市の正規職員として専任の手話通訳者(手話通訳士)を募集すべきだと思う。募集範囲を市内だけではなく、県内外にも広げるべきと考える。

部 長 人事当局と相談し、必要性を確認し募集を行っていきたい。また、非正規職員の採用については担当課で行っているが、なかなか応募がない状況。今後ハローワーク等を通じて、募集を続けていきたい。また、窓口でのサービスとしては、人権共生課が導入した映像通訳サービスがある。タブレットを使った通訳システムとして窓口などでの活用をしていただきたい。

課 長 見える通訳というアプリの入ったタブレット 2 台を導入し、1 台は本年7月に開設した外国人の相談窓口に配備し、もう 1 台は市役所の窓口で活用できるようにしている。人権共生課に申し出ただけであれば、貸し出し可能。13 カ国の言語と手話通訳が入っており、15 秒以内に遠隔で通訳者に接続されるので、窓口等でこの情報機器を利用していただきたい。このサービスは 365 日利用でき、8 時から 20 時まで利用することができる。

参加者 聴覚障がいの方に広く使っていただけるように周知するための PR として説明会を開いていただきたい。

課 長 担当課と協議して設定したい。

参加者 合併の頃、手話通訳ができる正規職員が採用された経緯があった。長野県内初、手話通訳の出来る正規職員として、多くの聴覚障がい者から頼りにされ、ろうあの方達は大変喜んでいて。生活で困ったことがあるとその人のところに行けば、市役所の関係する部署に話を繋いでくれ、生活の困り事をきちんと解決でき、いつでもそこに行けば話を聞いてもらえる安心感があった。今回、非正規職員の募集を採用期間 1 年という短い期間での募集だったが、聴覚障がいの者の生活、家庭の事情等をよく知っていないと寄り添ったサービスが出来ない。また、1 年間と短い採用期間では、応募がなかったのもそういう理由だと思う。ぜひ正規職員の採用をお願いしたい。

市 長 今後の職員採用の参考にさせていただきたい。職員課に相談して考える。

参加者 総合案内のところに手話のできる方を配置してほしい。

市 長 県にいたときに、毎月 1 回の部長会議で簡単な手話をやっていた。手話通訳の方が 2

人で来てくれてやっていたが、手話は簡単にはできない。

参加者 聴覚障害者協会が指導し、市主催の手話奉仕員養成講座に参加いただけてる方や過去に受講した方もいる。

市 長 総合案内に配置するより、障がい者支援課に行けば相談にのってもらえると思う人が多いと思うので、障がい者支援課に配置した方がよい。

#### 長野県遠隔手話通訳システム等について

参加者 以前、市主催で長野県遠隔手話通訳システムの利用者説明会が計画されていたが、コロナ禍の影響もあってか、説明会が開催されていない。市の窓口で手続き等で訪れる聴覚障害者のために、現在UDトークが使用されているが、UDトークでは音声から文字情報への翻訳はできるものの、文書を書くことを苦手とする聴覚障害者は自分の意見をなかなか伝えるのが難しい。窓口対応のため、遠隔手話通訳システムを市として活用し、聴覚障がい者がいつでも安心して来庁できるよう体制を整えるべき。

部 長 先ほどの「見える通訳」と長野県の遠隔手話通訳システムの違いだが、長野県の遠隔手話通訳システムは、聴覚障がいのある方のスマートフォンなどで利用者が直接通訳者を呼び出して行うもの。説明会を予定していたが、コロナの関係で中止になってしまった。改めて開催したいので、日程についてご相談させていただきたい。

市 長 県と話を進め行う予定なので、改めて日程等ご連絡させていただきたい。

参加者 本庁舎ではUDトークの利用ができるようになっているようだが、各支所ではUDトークの設置がされていない。窓口等で手続きの際、利用したい方が申し込み、UDトークが使える状態あったらいいと思う。利用したいときは市に事前に連絡すれば利用できるのか。

課 長 本庁舎では、UDトークの利用ができるが、支所においては現在、筆談での対応になっている。今後UDトークの支所設置についても検討したい。

参加者 本庁舎に手話通訳者が配置されたとして、そこに支所から画像通信する仕組みが出来れば、画像をみながら支所でも手続きができると思うが、どうか。

市 長 支所の体制についても見直しを行っていききたい。

- 参加者 市発行の暮らしのガイドブック電子版は、やさしい日本語への変換ができる。しかし、手話を第一言語とするろう者は、文章の理解がしにくい。ガイドブックの内容を手話通訳動画にし、QRコードをかざすと動画が流れるように工夫できないか？
- 部長 様々な冊子に手話通訳の動画を載せることはできると考える。ただその冊子のページ数を考えると、手話通訳の方の負担も考えなければいけないと思うので、検討していきたいと思う。
- 参加者 手話通訳者の負担という点については、他の聞こえない方に生活の案内を手話で説明するなど、私達ろう者もこのような計画に参画させていただきたい。
- 市長 承知した。
- 課長 どういった情報を載せていけばいいのかということを含めて、皆さんと相談し、必要な情報を掲載するように考えていきたい。
- 参加者 最低でも命に関わることに関する情報、例えば災害に関する事など、特に大事なので、載せていただきたい。次は、生活に直結すること、例えば、ゴミの捨て方、分別の方法など、毎年変わるものなどは、情報をいただきたい。
- 参加者 先ほど YouTube の手話ニュースの話があったが、そこで市からの暮らし方のお知らせや、くらしのヒント、例えばラウンドアバウトの紹介やハザードマップなど手話による特集番組のような情報発信も良いと思う、特に命に関わる点を中心に、ぜひお願いしたい。ハザードマップに関しても、自分たちが生活している場所はどうなるかっていうのを知る必要があるし、マップが示す内容を手話できちんと伝え、「このレベルになると危ないから家から逃げた方がよい」など、案内ができるようにする必要がある。
- 市長 承知した。聴覚障がい者の方には手話を使った説明が必要だし、高齢者や他の配慮が必要な方々にも説明をしないと、ただ地図を配っても意味がない。
- 参加者 ハザードマップが示す、赤いところ、黄色いところ、自分はどうすればいいか、わからず判断しかねる。説明していただける機会があれば、それを手話にしていただきたい。
- 市長 有事の際、役に立つよう考えてやるようにしたい。「すぐ避難してください」、「命を守ってください」といった災害レベルごとに説明する方法を考える。

## 「みえる通訳」体験してみよう

参加者 筆談や UD トークでの文章を見ながらのやりとりよりも手話で直接、画面を見ながら会話できるのですごく安心感があった。私や家族も、障がい者支援課に行くことがあり、いつも説明は UD トークを使っているが、文章を読むのが苦手なろうあの方もおり、今実際に体験してみて大変良かったので、家族に勧めたいと思った。

参加者 今後利用する中で、評判がよければ、2 台 3 台と増やしていきたい。特に、障がい者支援課には絶対いると思う。聞こえない方は何か困ったことがあるとまず障がい者支援課っていう考えがある。

市長 支所に4つ、障がい者支援課、健康支援センターに各 1 台を配置できるよう準備したい。

## 協会が開催する事業に対する市からの補助について

参加者 聴覚障害者協会としてコロナ禍前に、市からの補助で、防災講演会や救急救命の勉強会などを開いていた。コロナで中止になって以降、なかなか復活できずにいるが、今後再開したいと思っているので、市からの援助をお願いしたい。

市長 予算措置を検討したい。

## 聴覚障がい及び手話に対する啓発について

参加者 以前は、小中学校で手話に関係した講座があったが、今はなくなってしまった。子どものときから手話に慣れ親しむ機会を設けていただきたい。

市長 教育長と話して考えたい。

参加者 9月23日は手話言語国際デーということで全国で青い光を使ったライトアップ事業が行われる。松本市は松本城をライトアップ、長野市は善光寺をライトアップしている。安曇野市でも、例えば市役所の建物をライトアップしたりできないか。そういった取り組みができれば、ニュースにもなるかと思う。

市長 ライトアップだけでなく、さっき話のあった教育現場での手話の紹介とか、そういう取り組みがあって初めてそのライトアップに意味が出てくるので、来年に向けて検討していきたい。

参加者 市役所ロビーなどで展示するのはどうか。

市 長 展示は可能。12月9日の障害者の日や来年の手話国際デーに向けて展示への対応をしていきたい。

参加者 安曇野市聴覚障害者協会の定期総会に、ぜひ市長に出席いただきたい。佐久市、上田市、松本市などは市長が、定期総会に出席されている。

市 長 土日の公務がかなり入っているので、日程調整したい。自己紹介の手話をもう一度勉強したい。